

平成27年度における都内私立学校の児童生徒の問題行動等の実態

1 調査の概要

本調査は、文部科学省が全国の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制・通信制)及び特別支援学校を対象に、平成27年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)における「暴力行為」、「いじめ」、「小学校及び中学校における長期欠席」、「高等学校における長期欠席」及び「高等学校における中途退学者等」等の実態把握のため、実施した調査のうち、東京都内の私立学校分を取りまとめたものである。

<調査対象>

私立小学校	53校	(児童数 25,360人)	
私立中学校	188校	(生徒数 74,357人)	休校含む。
私立高等学校	241校	(生徒数 186,594人)	休校含む。
私立特別支援学校	4校	(児童生徒数 245人)	

※ 学校数及び児童生徒数は、平成27年度学校基本調査(平成27年5月1日現在)による。

ただし、「(5)私立高等学校における中途退学者数等の状況」については、平成27年4月1日現在の高等学校(全日制・定時制・通信制)の生徒(生徒数 186,534人)が対象である。

※ 「(3)私立小学校及び中学校における長期欠席の状況」については、昨年まで「不登校の状況」としていたが、本年調査からは、高等学校と同様に不登校を含む長期欠席の状況と調査内容を改めた。

2 主な調査結果 ※カッコ内は前年度数値

(1) 私立小学校、中学校、高等学校における暴力行為の状況 【資料の1(3頁)参照】

平成26年度に比べ、暴力行為の発生件数は小学校、中学校及び高等学校において増加している。

学校の管理下での暴力行為は、小学校3校で10件(4件)、中学校46校で182件(107件)及び高等学校57校で128件(119件)発生している。

学校の管理下以外での暴力行為は、小学校0校で0件(0件)、中学校2校で2件(1件)及び高等学校6校で6件(2件)発生している。

(平成27年度より、暴力行為の発生状況の区分が、「学校の管理下」「学校の管理下以外」に変更になった。)

※ 本調査における「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分けている。

【問い合わせ先】

生活文化局私学部私学行政課 電話 03-5388-3194

(2) 私立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況 【資料の2(4頁)参照】

平成26年度に比べ、いじめの認知件数は小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校において増加している。

いじめは小学校11校で32件(26件)、中学校72校で256件(172件)、高等学校52校で143件(104件)及び特別支援学校1校で2件(1件)発生している。

※ 本調査における「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

(3) 私立小学校及び中学校における長期欠席の状況 【資料の3(11頁)参照】

今年度から不登校を含む長期欠席について調査を実施。(昨年度は平成25年度の不登校児童生徒数を対象に調査を実施している。)

長期欠席者数は1,526人で、小学校は101人及び中学校は1,425人である。

(4) 私立高等学校における長期欠席の状況 【資料の4(13頁)参照】

平成26年度に比べ、長期欠席者数は全日制及び定時制において増加している。

長期欠席者数は1,757人(1,364人)で、全日制は1,720人(1,331人)及び定時制は37人(33人)である。

※ 本調査における「長期欠席者数」とは、平成27年度間(平成27年4月1日から平成28年3月31日までの1年間)に「病気」、「経済的理由」、「不登校」等により連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒をいう。

(5) 私立高等学校における中途退学者数等の状況 【資料の5(15、16頁)参照】

平成26年度に比べ、退学となった生徒数は全日制、定時制及び通信制において減少しており、原級留置となった生徒数においては、全日制が増加、通信制は減少している。

退学者数は1,920人で、全日制は1,374人(1,424人)、定時制は16人(18人)、通信制は530人(588人)である。

平成28年3月31日で原級留置となった生徒数は883人で、全日制は273人(224人)、定時制は0人(0人)、通信制は610人(740人)である。

(6) 私立小学校、中学校及び高等学校における自殺の状況 【資料の6(16頁)参照】

平成27年度の自殺者数は7人で、中学校は2人、高等学校は5人である。

1 私立小学校、中学校及び高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の発生状況

項目 校種	学校総数(校) A	区分	発生学校数(校) B	発生率(%) B/A×100	発生件数(件) C	1校あたりの件数(件) C/A
小学校	53 (53)	学校の管理下	3 (4)	5.7% (7.5%)	10 (4)	0.19 (0.08)
		学校の管理下以外	0 (0)	0.0% (0.0%)	0 (0)	0.00 (0.00)
中学校	188 (188)	学校の管理下	46 (32)	24.5% (17.0%)	182 (107)	0.97 (0.57)
		学校の管理下以外	2 (1)	1.1% (0.5%)	2 (1)	0.01 (0.01)
高等学校	241 (241)	学校の管理下	57 (46)	23.7% (19.1%)	128 (119)	0.53 (0.49)
		学校の管理下以外	6 (2)	2.5% (0.8%)	6 (2)	0.02 (0.01)

※表中の()内は前年度数値

(2) 対教師暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	区分	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)	被害教師数 (人)
小学校	53	学校の管理下	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
		学校の管理下以外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
中学校	188	学校の管理下	3 (1.6%)	3 (0.02)	3 (1.00)	3 (1.00)
		学校の管理下以外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
高等学校	241	学校の管理下	2 (0.8%)	2 (0.01)	2 (1.00)	2 (1.00)
		学校の管理下以外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数／学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数／学校総数、
「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数／発生件数、「被害教師数」欄が被害教師数／発生件数

(3) 生徒間暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	区分	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)	被害児童生徒数 (人)
小学校	53	学校の管理下	3 (5.7%)	10 (0.19)	8 (0.80)	8 (0.80)
		学校の管理下以外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
中学校	188	学校の管理下	44 (23.4%)	158 (0.84)	191 (1.21)	163 (1.03)
		学校の管理下以外	2 (1.1%)	2 (0.01)	3 (1.50)	2 (1.00)
高等学校	241	学校の管理下	49 (20.3%)	103 (0.43)	132 (1.28)	110 (1.07)
		学校の管理下以外	2 (0.8%)	2 (0.01)	2 (1.00)	2 (1.00)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数／学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数／学校総数、
「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数／発生件数、「被害児童生徒数」欄が被害児童生徒数／発生件数
※加害・被害の別が判明しない場合は、「加害児童生徒数」欄に含めている。

(4) 対人暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	区分	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)	被害者数 (人)
小学校	53	学校の管理下	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
		学校の管理下以外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
中学校	188	学校の管理下	1 (0.5%)	1 (0.01)	1 (1.00)	1 (1.00)
		学校の管理下以外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
高等学校	241	学校の管理下	1 (0.4%)	1 (0.00)	1 (1.00)	1 (1.00)
		学校の管理下以外	4 (1.7%)	4 (0.02)	4 (1.00)	3 (0.75)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数／学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数／学校総数、
「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数／発生件数、「被害者数」欄が被害者数／発生件数

(5) 器物損壊の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)
小学校	53	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)
中学校	188	12 (6.4%)	20 (0.11)	29 (1.45)
高等学校	241	11 (4.6%)	22 (0.09)	28 (1.27)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数／学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数／学校総数、
「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数／発生件数

(6) 暴力行為の学年・男女別加害児童生徒数 (単位:人)

項目 校種	1年生		2年生		3年生	
	男	女	男	女	男	女
小学校	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
中学校	107 (48.0%)	2 (50.0%)	80 (35.9%)	2 (50.0%)	36 (16.1%)	0 (0.0%)
高等学校	63 (39.1%)	5 (62.5%)	64 (39.8%)	2 (25.0%)	34 (21.1%)	1 (12.5%)

項目 校種	4年生		5年生		6年生	
	男	女	男	女	男	女
小学校	1 (14.3%)	1 (100.0%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)

※表中の()は、該当する男女別児童生徒数／男女別加害児童生徒校種別総数×100

2 私立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況

(1) 「いじめ」の認知状況等

項目 校種		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校総数(校)	A	53 (53)	188 (188)	266 (266)	4 (4)	511 (511)
認知学校数(校)	B	11 (9)	72 (55)	52 (47)	1 (1)	136 (112)
認知件数(件)	C	32 (26)	256 (172)	143 (104)	2 (1)	433 (303)
警察に相談・通報した学校数(校)		0 (0)	1 (2)	2 (1)	0 (0)	3 (3)
警察に相談・通報した件数(件)		0 (0)	1 (2)	2 (1)	0 (0)	3 (3)
認知学校率	B/A×100	20.8% (17.0%)	38.3% (29.3%)	19.5% (17.7%)	25.0% (25.0%)	26.6% (21.9%)
1校当たりの件数(件)	C/A	0.6 (0.5)	1.4 (0.9)	0.5 (0.4)	0.5 (0.3)	0.8 (0.6)

※表中の()内は前年度数値

(2) いじめの現在の状況 (単位:件)

項目 校種		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
解消しているもの		22 (68.8%)	201 (78.5%)	111 (77.6%)	2 (100.0%)	336 (77.6%)
一定の解消が図られたが、継続支援中		7 (21.9%)	27 (10.5%)	19 (13.3%)	0 (0.0%)	53 (12.2%)
解消に向けて取組中		1 (3.1%)	13 (5.1%)	7 (4.9%)	0 (0.0%)	21 (4.8%)
その他(他校への転学、退学等)		2 (6.3%)	15 (5.9%)	6 (4.2%)	0 (0.0%)	23 (5.3%)

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(3) いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

(単位:件)

学年 \ 校種		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
計	男子	13 (40.6%)	143 (55.9%)	94 (65.7%)	1 (50.0%)	251 (58.0%)
	女子	19 (59.4%)	113 (44.1%)	49 (34.3%)	1 (50.0%)	182 (42.0%)
	計	32 (100.0%)	256 (100.0%)	143 (100.0%)	2 (100.0%)	433 (100.0%)
1年生	男子	3 (9.4%)	79 (30.9%)	43 (30.1%)		
	女子	4 (12.5%)	70 (27.3%)	26 (18.2%)		
	計	7 (21.9%)	149 (58.2%)	69 (48.3%)		
2年生	男子	0 (0.0%)	42 (16.4%)	43 (30.1%)		
	女子	3 (9.4%)	20 (7.8%)	18 (12.6%)		
	計	3 (9.4%)	62 (24.2%)	61 (42.7%)		
3年生	男子	2 (6.3%)	22 (8.6%)	8 (5.6%)		
	女子	1 (3.1%)	23 (9.0%)	5 (3.5%)		
	計	3 (9.4%)	45 (17.6%)	13 (9.1%)		
4年生	男子	3 (9.4%)				
	女子	4 (12.5%)				
	計	7 (21.9%)				
5年生	男子	2 (6.3%)				
	女子	6 (18.8%)				
	計	8 (25.0%)				
6年生	男子	3 (9.4%)				
	女子	1 (3.1%)				
	計	4 (12.5%)				

※表中の()内は、該当する人数/いじめの認知件数×100

(4) いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分 \ 校種		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校の教職員等が発見		3 (9.4%)	92 (35.9%)	80 (55.9%)	0 (0.0%)	175 (40.4%)
内 訳	学級担任が発見	2	36	33	0	71
	学級担任以外の教職員が発見 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	0	9	10	0	19
	養護教諭が発見	0	1	0	0	1
	スクールカウンセラー等の相談員が発見	1	7	1	0	9
	アンケート調査など学校の取組により発見	0	39	36	0	75
学校の教職員以外からの情報により発見		29 (90.6%)	164 (64.1%)	63 (44.1%)	2 (100.0%)	258 (59.6%)
内 訳	本人からの訴え	8	71	33	1	113
	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	19	62	14	1	96
	児童生徒(本人を除く)からの情報	1	20	11	0	32
	保護者(本人の保護者を除く)からの情報	1	11	4	0	16
	地域の住民からの情報	0	0	0	0	0
	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	0	0	1	0	1
	その他(匿名による投書など)	0	0	0	0	0
計		32	256	143	2	433

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(5) いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任に相談		20 (62.5%)	199 (77.7%)	108 (75.5%)	1 (50.0%)	328 (75.8%)
学級担任以外の教職員に相談 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)		6 (18.8%)	45 (17.6%)	27 (18.9%)	0 (0.0%)	78 (18.0%)
養護教諭に相談		1 (3.1%)	21 (8.2%)	6 (4.2%)	0 (0.0%)	28 (6.5%)
スクールカウンセラー等の相談員に相談		1 (3.1%)	52 (20.3%)	21 (14.7%)	0 (0.0%)	74 (17.1%)
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)		2 (6.3%)	10 (3.9%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	15 (3.5%)
保護者や家族等に相談		22 (68.8%)	114 (44.5%)	63 (44.1%)	1 (50.0%)	200 (46.2%)
友人に相談		1 (3.1%)	36 (14.1%)	44 (30.8%)	0 (0.0%)	81 (18.7%)
その他(地域の人など)		0 (0.0%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
誰にも相談していない		0 (0.0%)	20 (7.8%)	8 (5.6%)	0 (0.0%)	28 (6.5%)
計		53 (165.6%)	499 (194.9%)	280 (195.8%)	2 (100.0%)	834 (192.6%)

※回答は複数選択
※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(6) いじめの態様

(単位:件)

区分	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる		15 (46.9%)	181 (70.7%)	75 (52.4%)	0 (0.0%)	271 (62.6%)
仲間はずれ、集団による無視をされる		9 (28.1%)	50 (19.5%)	21 (14.7%)	0 (0.0%)	80 (18.5%)
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする		8 (25.0%)	44 (17.2%)	14 (9.8%)	0 (0.0%)	66 (15.2%)
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする		3 (9.4%)	20 (7.8%)	14 (9.8%)	0 (0.0%)	37 (8.5%)
金品をたかられる		0 (0.0%)	7 (2.7%)	5 (3.5%)	0 (0.0%)	12 (2.8%)
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする		3 (9.4%)	20 (7.8%)	5 (3.5%)	0 (0.0%)	28 (6.5%)
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする		5 (15.6%)	20 (7.8%)	19 (13.3%)	1 (50.0%)	45 (10.4%)
パソコンや携帯電話で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる		0 (0.0%)	50 (19.5%)	50 (35.0%)	0 (0.0%)	100 (23.1%)
その他		1 (3.1%)	10 (3.9%)	8 (5.6%)	1 (50.0%)	20 (4.6%)
計		44 (137.5%)	402 (157.0%)	211 (147.6%)	2 (100.0%)	659 (152.2%)

※回答は複数選択
※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(7) いじめる児童生徒への特別な対応

(単位:件)

区分		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリング			4 (12.5%)	53 (20.7%)	19 (13.3%)	0 (0.0%)	76 (17.6%)
校長、教頭が指導			12 (37.5%)	58 (22.7%)	46 (32.2%)	2 (100.0%)	118 (27.3%)
別室指導			12 (37.5%)	88 (34.4%)	70 (49.0%)	1 (50.0%)	171 (39.5%)
学級替え			0 (0.0%)	11 (4.3%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	14 (3.2%)
退学・転学	懲戒処分としての退学		0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	2 (0.5%)
	その他		0 (0.0%)	3 (1.2%)	13 (9.1%)	0 (0.0%)	16 (3.7%)
停学			— —	— —	33 (23.1%)	0 (0.0%)	33 (7.6%)
自宅学習・自宅謹慎			— —	— —	14 (9.8%)	0 (0.0%)	14 (3.2%)
訓告			0 (0.0%)	66 (25.8%)	24 (16.8%)	0 (0.0%)	90 (20.8%)
保護者への報告			29 (90.6%)	150 (58.6%)	90 (62.9%)	2 (100.0%)	271 (62.6%)
いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導			14 (43.8%)	90 (35.2%)	62 (43.4%)	2 (100.0%)	168 (38.8%)
関係機関等との連携	警察等の刑事司法機関等との連携		0 (0.0%)	2 (0.8%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	4 (0.9%)
	児童相談所等の福祉機関等との連携		0 (0.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
	病院等の医療機関等との連携		0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
	その他の専門的な関係機関との連携		0 (0.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
	地域の人材や団体等との連携		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計			71 (221.9%)	523 (204.3%)	379 (265.0%)	7 (350.0%)	980 (226.3%)

※回答は複数選択
※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(8) いじめる児童生徒に対する関係機関の措置別人数

(単位:人)

区分		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
警察の補導(家庭裁判所送致等されず、警察限りで処理されたもの)			0	0	0	0	0
家庭裁判所(不処分、審判不開始を含む)			0	0	3	0	3
少年刑務所			—	—	0	0	0
少年院			0	0	0	0	0
保護観察			0	0	0	0	0
児童自立支援施設			0	0	0	0	0
児童相談所			1	0	0	0	1
計			1	0	3	0	4

(9) いじめられた児童生徒への特別な対応

(単位:件)

校種 区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリング	8 (25.0%)	116 (45.3%)	82 (57.3%)	0 (0.0%)	206 (47.6%)
別室の提供や、常時教職員が付くなどして心身の安全を確保	3 (9.4%)	74 (28.9%)	36 (25.2%)	0 (0.0%)	113 (26.1%)
緊急避難として欠席	0 (0.0%)	7 (2.7%)	4 (2.8%)	0 (0.0%)	11 (2.5%)
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施	1 (3.1%)	25 (9.8%)	17 (11.9%)	0 (0.0%)	43 (9.9%)
学級替え	0 (0.0%)	11 (4.3%)	3 (2.1%)	0 (0.0%)	14 (3.2%)
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
児童相談所等の関係機関と連携した対応(サポートチームなども含む)	1 (3.1%)	5 (2.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	7 (1.6%)
計	13 (40.6%)	238 (93.0%)	143 (100.0%)	0 (0.0%)	394 (91.0%)

※回答は複数選択
※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(10) 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

(単位:校)

校種 区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
いじめの問題に関して、職員会議等を通じて教職員間で共通理解を図ったり校内研修会を実施したりした	48 (90.6%)	146 (77.7%)	198 (74.4%)	2 (50.0%)	394 (77.1%)
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	43 (81.1%)	136 (72.3%)	143 (53.8%)	3 (75.0%)	325 (63.6%)
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした	26 (49.1%)	85 (45.2%)	80 (30.1%)	2 (50.0%)	193 (37.8%)
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った	42 (79.2%)	154 (81.9%)	192 (72.2%)	1 (25.0%)	389 (76.1%)
教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	9 (17.0%)	53 (28.2%)	69 (25.9%)	1 (25.0%)	132 (25.8%)
学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得るよう努めた	7 (13.2%)	42 (22.3%)	59 (22.2%)	0 (0.0%)	108 (21.1%)
PTAなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	1 (1.9%)	10 (5.3%)	10 (3.8%)	0 (0.0%)	21 (4.1%)
いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った	3 (5.7%)	21 (11.2%)	28 (10.5%)	0 (0.0%)	52 (10.2%)
インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対処のための啓発活動を実施した	14 (26.4%)	106 (56.4%)	132 (49.6%)	0 (0.0%)	252 (49.3%)
学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った	24 (45.3%)	68 (36.2%)	89 (33.5%)	1 (25.0%)	182 (35.6%)
学校いじめ防止基本方針に定めているとおり、いじめ防止等の対策のための組織を招集した	22 (41.5%)	72 (38.3%)	97 (36.5%)	2 (50.0%)	193 (37.8%)
計	239 (450.9%)	893 (475.0%)	1,097 (412.4%)	12 (300.0%)	2,241 (438.6%)

※回答は複数選択
※表中の()内は、該当する校数/校種別学校総数×100

(11) いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法について

(単位:校)

校種 区分			小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
アンケート調査の実施			25 (47.2%)	122 (64.9%)	138 (51.9%)	1 (25.0%)	286 (56.0%)
	実施 頻度	年1回	7 (13.2%)	48 (25.5%)	54 (20.3%)	1 (25.0%)	110 (21.5%)
		年2～3回	15 (28.3%)	69 (36.7%)	80 (30.1%)	0 (0.0%)	164 (32.1%)
		年4回以上	3 (5.7%)	5 (2.7%)	4 (1.5%)	0 (0.0%)	12 (2.3%)
	調査 方法	記名式	18 (34.0%)	60 (31.9%)	68 (25.6%)	0 (0.0%)	146 (28.6%)
		無記名式	7 (13.2%)	50 (26.6%)	62 (23.3%)	1 (25.0%)	120 (23.5%)
		記名・無記名の選 択式	3 (5.7%)	17 (9.0%)	15 (5.6%)	0 (0.0%)	35 (6.8%)
	回答 方法	選択式 (学校で記入)	17 (32.1%)	67 (35.6%)	82 (30.8%)	1 (25.0%)	167 (32.7%)
		選択式 (持ち 帰って記入)	1 (1.9%)	13 (6.9%)	20 (7.5%)	0 (0.0%)	34 (6.7%)
		記述式 (学校で記入)	13 (24.5%)	63 (33.5%)	59 (22.2%)	1 (25.0%)	136 (26.6%)
		記述式 (持ち 帰って記入)	2 (3.8%)	23 (12.2%)	24 (9.0%)	0 (0.0%)	49 (9.6%)
個別面談の実施			37 (69.8%)	159 (84.6%)	206 (77.4%)	2 (50.0%)	404 (79.1%)
「個人ノート」や「生活ノート」といったよ うな教職員と児童生徒との間で日常的 に行われている日記等			37 (69.8%)	72 (38.3%)	54 (20.3%)	2 (50.0%)	165 (32.3%)
家庭訪問			3 (5.7%)	10 (5.3%)	5 (1.9%)	2 (50.0%)	20 (3.9%)
その他			4 (7.5%)	10 (5.3%)	19 (7.1%)	0 (0.0%)	33 (6.5%)
計			106 (200.0%)	373 (198.4%)	422 (158.6%)	7 (175.0%)	908 (177.7%)

※回答は複数選択

※表中の()内は、該当する校数/校種別学校総数×100

(12) いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数

区分			小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
法第28条第1項に規定する「重大事態」が発生した学校数(単位:校)			0	4	3	0	7
法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)			0	5	3	0	8
法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	3	3	0	6
	重大な被害の態様	生命	0	0	1	0	1
		身体	0	0	0	0	0
		精神	0	3	2	0	5
		金品等	0	0	0	0	0
	調査状況	調査済みの件数	0	3	3	0	6
			(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		うち、調査の結果、いじめが確認されたもの	0	3	2	0	5
		うち、調査の結果、いじめが確認されなかったもの	0	0	1	0	1
		調査中の件数	0	0	0	0	0
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	3	0	0	3
	調査状況	調査済みの件数	0	3	0	0	3
			(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		うち、調査の結果、いじめが確認されたもの	0	3	0	0	3
		うち、調査の結果、いじめが確認されなかったもの	0	0	0	0	0
		調査中の件数	0	0	0	0	0
法第28条第1項に規定する「重大事態」の調査主体	「重大事態」の発生件数のうち、当該学校が調査主体となった件数(単位:件)		0	5	3	0	8
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	3	3	0	6
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	3	0	0	3
	「重大事態」の発生件数のうち、当該学校の設置者(当該学校以外)が調査主体となった件数(単位:件)		0	0	0	0	0
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0
	「重大事態」の発生件数のうち、調査主体を検討中の件数(単位:件)		0	0	0	0	0
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0
法第28条第1項に規定する「重大事態」のうち、法第30条第2項及び法第31条第2項に規定する調査の結果について調査(再調査)を行った件数	「重大事態」の発生件数のうち、地方公共団体の長等において調査の結果について調査(再調査)を行った件数(単位:件)		0	0	0	0	0
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)		0	0	0	0	0

※法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」、同項第2号に規定する「重大事態」は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

※ 「重大な被害の態様」については、最も重大と考えられるものを回答。

※いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号及び同第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に回答。

※調査済みの件数の()は、「法第23条第2項による措置にて事実関係の全貌が十分に明確にされたと判断できたため改めて調査組織を設置しなかった場合」とは、学校における当該児童等に係るいじめの事実の有無の確認を行うための措置において全貌が明らかとなり、かつ内容が正確であると法第28条の組織で判断できたため、改めて調査をしなかった件数。なお、調査済みの件数の内数になる。

3 私立小学校及び中学校における長期欠席の状況

(1) 長期欠席の状況 (単位:人)

項目 \ 校種	小学校	中学校	計
病気	43 (42.6%)	396 (27.8%)	439 (28.8%)
経済的理由	0 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)
不登校	45 (44.6%)	938 (65.8%)	983 (64.4%)
その他	13 (12.9%)	90 (6.3%)	103 (6.7%)
計	101 (100.0%)	1,425 (100.0%)	1,526 (100.0%)

※表中の()内は、該当する児童生徒数/長期欠席者数×100

(2) 学年別長期欠席理由 (単位:人)

校種	理由	病気	経済的理由	不登校				その他		合計
	学年			うち、90日以上欠席している	うち、出席日数が10日以下		うち、「不登校」の要因を含んでいる			
					うち、出席日数が10日以下	うち、出席日数が0日				
小学校	1年	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	2年	3	0	4	3	0	0	4	1	11
	3年	5	0	4	3	0	0	1	1	10
	4年	6	0	5	1	0	0	3	2	14
	5年	12	0	14	9	0	0	0	0	26
	6年	15	0	18	11	5	1	5	2	38
	計	43	0	45	27	5	1	13	6	101
中学校	1年	82	0	255	144	12	2	22	6	359
	2年	147	1	337	208	37	17	24	15	509
	3年	167	0	346	212	47	16	44	19	557
	計	396	1	938	564	96	35	90	40	1,425
合計		439	1	983	591	101	36	103	46	1,526

(3) 不登校の要因

区分 \ 分類	小学校										中学校									
	分類別児童数	学校に係る状況								家庭に係る状況	分類別生徒数	学校に係る状況								家庭に係る状況
		いじめ	をいじめを除く友人関係	教職員との関係をめぐ	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等	学校のきまり等をめぐ	時の不適応			いじめ	をいじめを除く友人関係	教職員との関係をめぐ	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等	学校のきまり等をめぐ	時の不適応	
「学校における人間関係」に課題	9 (20.0%)	1	6	2	0	0	1	0	0	0	144 (15.4%)	12	100	8	9	4	9	1	17	0
「あそび・非行」の傾向	1 (2.2%)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4 (0.4%)	0	0	0	4	0	0	1	0	0
「無気力」の傾向	5 (11.1%)	0	1	0	0	0	0	0	0	2	186 (19.8%)	0	32	1	55	13	1	2	26	36
「不安」の傾向	21 (46.7%)	7	2	2	0	0	0	0	0	8	350 (37.3%)	0	85	2	79	26	2	4	83	81
「その他」	9 (20.0%)	0	0	1	0	1	0	0	1	5	254 (27.1%)	0	13	0	18	5	3	6	50	89
計	45 (100.0%)	8	9	5	0	1	1	1	1	15	938 (100.0%)	12	230	11	165	48	15	14	176	206

※「区分」の回答は複数選択
※表中の()内は、該当する分類別児童生徒数/不登校者数×100

(4) 不登校児童生徒への指導結果状況

(単位:人)

項目 \ 校種	小学校		中学校	
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	21 (46.7%)	(12) (23.5%)	220 (23.5%)	(263) (27.4%)
指導中の児童生徒	24 (53.3%)	(39) (76.5%)	718 (76.5%)	(697) (72.6%)
計	45 (100.0%)	(51) (100.0%)	938 (100.0%)	(960) (100.0%)

※表中の右欄(()内)は前年度数値
※表中の()内は、該当する児童生徒数/不登校児童生徒数×100

(5) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分 \ 校種		小学校	中学校
学校外	① 教育支援センター(適応指導教室)	4 (8.9%)	29 (3.1%)
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	4 (8.9%)	17 (1.8%)
	③ 児童相談所、福祉事務所	4 (8.9%)	12 (1.3%)
	④ 保健所、精神保健福祉センター	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	⑤ 病院、診療所	18 (40.0%)	255 (27.2%)
	⑥ 民間団体、民間施設	1 (2.2%)	36 (3.8%)
	⑦ 上記以外の機関等	0 (0.0%)	14 (1.5%)
	上記①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	19 (42.2%)	589 (62.8%)
学校内	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	11 (24.4%)	181 (19.3%)
	⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	25 (55.6%)	507 (54.1%)
	上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	18 (40.0%)	308 (32.8%)
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数		7 (15.6%)	174 (18.6%)

※回答は複数選択
※表中の()内は、該当する児童生徒数/不登校児童生徒数×100

4 私立高等学校における長期欠席の状況

(1) 長期欠席の状況 (単位:人)

項目 \ 課程	全日制	定時制	計
病気	661 (38.4%)	0 (0.0%)	661 (37.6%)
経済的理由	7 (0.4%)	0 (0.0%)	7 (0.4%)
不登校	855 (49.7%)	37 (100.0%)	892 (50.8%)
その他	197 (11.5%)	0 (0.0%)	197 (11.2%)
計	1,720 (100.0%)	37 (100.0%)	1,757 (100.0%)

※表中の()内は、該当する生徒数/長期欠席者数×100

(2) 学年別長期欠席理由 (単位:人)

課程	理由	病気	経済的 理由	不登校						その他		合計
	学年				中退	原級留置	うち、90日 以上欠席 している	うち、出席 日数が10 日以下		うち、「不 登校」の要 因を含ん でいる		
								うち、出席 日数が0日				
全 日 制	1年	221	2	341	145	26	54	16	1	78	25	642
	2年	218	3	341	101	14	47	12	3	66	19	628
	3年	222	2	173	29	3	14	1	0	53	10	450
	計	661	7	855	275	43	115	29	4	197	54	1,720
定 時 制	1年	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
	2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3年	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	単位制	0	0	35	1	2	2	0	0	0	0	35
	計	0	0	37	1	2	3	0	0	0	0	37
合計		661	7	892	276	45	118	29	4	197	54	1,757

(3) 不登校の要因

区分 分類	全日制										定時制											
	分類別生徒数	学校に係る状況									家庭に係る状況	分類別生徒数	学校に係る状況									家庭に係る状況
		いじめ	いじめを除く友人関係	教職員との関係をめぐ	学業の不振	進路に係る不安	への不適応	クラブ活動、部活動等	学校のきまり等をめぐ	時の不適応			入学、転編入学、進級	いじめ	いじめを除く友人関係	教職員との関係をめぐ	学業の不振	進路に係る不安	への不適応	クラブ活動、部活動等	学校のきまり等をめぐ	
「学校における人間関係」に課題	186 (21.8%)	1	107	6	17	12	12	4	35	0	0 (0.0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
「あそび・非行」の傾向	24 (2.8%)	0	0	1	9	1	2	10	0	4	0 (0.0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
「無気力」の傾向	251 (29.4%)	0	21	0	95	17	3	12	58	37	4 (10.8%)	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	
「不安」の傾向	236 (27.6%)	1	34	0	47	63	8	4	25	46	33 (89.2%)	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	
「その他」	158 (18.5%)	0	9	1	6	24	6	1	28	35	0 (0.0%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	855 (100.0%)	2	171	8	174	117	31	31	146	122	37 (100.0%)	0	1	0	1	1	0	1	0	3	3	

※「区分」の回答は複数選択
※表中の()内は、該当する分類別生徒数/不登校者数×100

(4) 不登校生徒への指導結果状況

(単位:人)

項目 \ 課程	全日制		定時制	
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	281 (32.9%)	(283) (39.4%)	3 (8.1%)	(0) (0.0%)
指導中の生徒	574 (67.1%)	(436) (60.6%)	34 (91.9%)	(33) (100.0%)
計	855 (100.0%)	(719) (100.0%)	37 (100.0%)	(33) (100.0%)

※表中の右欄(()内)は前年度数値
※表中の()内は、該当する生徒数/不登校生徒数×100

(5) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分 \ 課程		全日制	定時制
学校外	① 教育支援センター(適応指導教室)	9 (1.1%)	0 (0.0%)
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	4 (0.5%)	0 (0.0%)
	③ 児童相談所、福祉事務所	10 (1.2%)	0 (0.0%)
	④ 保健所、精神保健福祉センター	4 (0.5%)	0 (0.0%)
	⑤ 病院、診療所	203 (23.7%)	1 (2.7%)
	⑥ 民間団体、民間施設	15 (1.8%)	0 (0.0%)
	⑦ 上記以外の機関等	5 (0.6%)	0 (0.0%)
	上記①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	490 (57.3%)	6 (16.2%)
	不明	125 (14.6%)	30 (81.1%)
学校内	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	179 (20.9%)	0 (0.0%)
	⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	371 (43.4%)	6 (16.2%)
	上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	393 (46.0%)	31 (83.8%)
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数		208 (24.3%)	6 (16.2%)

※回答は複数選択
※表中の()内は、該当する生徒数/不登校生徒数×100

5 私立高等学校における中途退学者数等の状況

(1) 退学者数 (単位:人)

学科等 学年		普通科	専門学科	定時制	通信制	合計
1年	生徒数	56,771	2,889	181	0	59,841
	退学者数	679	21	1	0	701
	退学率	1.2%	0.7%	0.6%	0.0%	1.2%
2年	生徒数	55,609	3,077	173	0	58,859
	退学者数	505	31	1	0	537
	退学率	0.9%	1.0%	0.6%	0.0%	0.9%
3年	生徒数	53,165	3,426	177	0	56,768
	退学者数	127	11	1	0	139
	退学率	0.2%	0.3%	0.6%	0.0%	0.2%
単位制	生徒数	0	0	762	10,304	11,066
	退学者数	0	0	13	530	543
	退学率	0.0%	0.0%	1.7%	5.1%	4.9%
計	生徒数	165,545 (164,526)	9,392 (9,878)	1,293 (1,348)	10,304 (10,716)	186,534
	退学者数	1,311 (1,319)	63 (105)	16 (18)	530 (588)	1,920
	退学率	0.8% (0.8%)	0.7% (1.1%)	1.2% (1.3%)	5.1% (5.5%)	1.0%

※生徒数は平成27年4月1日現在

※表中の()内は前年度数値

(2) 退学者の理由別・学年別内訳

【全日制】 (単位:人)

理由 学科等	普通科				専門学科				計			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
学業不振	58 (8.5%)	65 (12.9%)	8 (6.3%)	131 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	58 (8.3%)	65 (12.1%)	8 (5.8%)	131 (9.5%)
学校生活・学業不適応	151 (22.2%)	113 (22.4%)	24 (18.9%)	288 (22.0%)	9 (42.9%)	17 (54.8%)	3 (27.3%)	29 (46.0%)	160 (22.9%)	130 (24.3%)	27 (19.6%)	317 (23.1%)
進路変更	288 (42.4%)	178 (35.2%)	54 (42.5%)	520 (39.7%)	3 (14.3%)	10 (32.3%)	2 (18.2%)	15 (23.8%)	291 (41.6%)	188 (35.1%)	56 (40.6%)	535 (38.9%)
病気・けが・死亡	63 (9.3%)	43 (8.5%)	15 (11.8%)	121 (9.2%)	2 (9.5%)	1 (3.2%)	2 (18.2%)	5 (7.9%)	65 (9.3%)	44 (8.2%)	17 (12.3%)	126 (9.2%)
経済的理由	17 (2.5%)	19 (3.8%)	3 (2.4%)	39 (3.0%)	1 (4.8%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	2 (3.2%)	18 (2.6%)	20 (3.7%)	3 (2.2%)	41 (3.0%)
家庭の事情	42 (6.2%)	31 (6.1%)	9 (7.1%)	82 (6.3%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	43 (6.1%)	31 (5.8%)	9 (6.5%)	83 (6.0%)
問題行動等	20 (2.9%)	16 (3.2%)	5 (3.9%)	41 (3.1%)	4 (19.0%)	1 (3.2%)	4 (36.4%)	9 (14.3%)	24 (3.4%)	17 (3.2%)	9 (6.5%)	50 (3.6%)
その他	40 (5.9%)	40 (7.9%)	9 (7.1%)	89 (6.8%)	1 (4.8%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	2 (3.2%)	41 (5.9%)	41 (7.6%)	9 (6.5%)	91 (6.6%)
計	679 (100.0%)	505 (100.0%)	127 (100.0%)	1,311 (100.0%)	21 (100.0%)	31 (100.0%)	11 (100.0%)	63 (100.0%)	700 (100.0%)	536 (100.0%)	138 (100.0%)	1,374 (100.0%)
生徒数	56,771	55,609	53,165	165,545	2,889	3,077	3,426	9,392	59,660	58,686	56,591	174,937
退学率	1.2%	0.9%	0.2%	0.8%	0.7%	1.0%	0.3%	0.7%	1.2%	0.9%	0.2%	0.8%

※表中の()内は、該当する生徒数/退学者数×100

(2) 退学者の理由別・学年別内訳（続き）

【定時制/通信制】(単位:人)

理由	定時制					通信制	計				
	1 年	2 年	3 年	単位制	計	単位制	1 年	2 年	3 年	単位制	計
学業不振	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (6.3%)	25 (4.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	26 (4.8%)	26 (4.8%)
学校生活・学業不適応	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	5 (38.5%)	7 (43.8%)	76 (14.3%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	81 (14.9%)	83 (15.2%)
進路変更	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	3 (23.1%)	4 (25.0%)	207 (39.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	210 (38.7%)	211 (38.6%)
病気・けが・死亡	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (6.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (6.3%)	34 (6.2%)
経済的理由	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)	2 (12.5%)	51 (9.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	53 (9.8%)	53 (9.7%)
家庭の事情	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)	2 (12.5%)	60 (11.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	62 (11.4%)	62 (11.4%)
問題行動等	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.7%)	4 (0.7%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	73 (13.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	73 (13.4%)	73 (13.4%)
計	1 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	13 (100.0%)	16 (100.0%)	530 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	543 (100.0%)	546 (100.0%)
生徒数	181	173	177	762	1,293	10,304	181	173	177	11,066	11,597
退学率	0.6%	0.6%	0.6%	1.7%	1.2%	5.1%	0.6%	0.6%	0.6%	4.9%	4.7%

※表中の()内は、該当する生徒数/退学者数×100

(3) 原級留置者の状況

(単位:人)

学科等		普通科		専門学科		定時制		通信制		合計
学年	生徒数									
	原級留置者数									
1年	生徒数	56,771		2,889		181		0		59,841
	原級留置者数	107		11		0		0		118
	原級留置率	0.2%		0.4%		0.0%		0.0%		0.2%
2年	生徒数	55,609		3,077		173		0		58,859
	原級留置者数	101		8		0		0		109
	原級留置率	0.2%		0.3%		0.0%		0.0%		0.2%
3年	生徒数	53,165		3,426		177		0		56,768
	原級留置者数	42		4		0		0		46
	原級留置率	0.1%		0.1%		0.0%		0.0%		0.1%
単位制	生徒数	0		0		762		10,304		11,066
	原級留置者数	0		0		0		610		610
	原級留置率	0.0%		0.0%		0.0%		5.9%		5.5%
計	生徒数	165,545	(164,526)	9,392	(9,878)	1,293	(1,348)	10,304	(10,716)	186,534
	原級留置者数	250	(214)	23	(10)	0	(0)	610	(740)	883
	原級留置率	0.2%	(0.1%)	0.2%	(0.1%)	0.0%	(0.0%)	5.9%	(6.9%)	0.5%

※生徒数は平成27年4月1日現在

※表中の()内は前年度数値

6 私立小学校、中学校及び高等学校における自殺の状況

校種	人数
小学校	0
中学校	2
高等学校	5
計	7